

いわきの“ふたば”茶亭(福島県いわき市〔双葉町〕) (平成28年10月)

- いわきの“ふたば”茶亭は、手作りにこだわる欧風創作菓子店です。双葉町で人気のお店でしたが、震災で避難。オーナーの眞柄正洋さんが、お店を「自分の代で絶やしてはいけない」と、およそ半年でいわき市に移転オープンさせました。
- 名前を変えずに『ふたば茶亭』として再開したのは、「ゆくゆくは双葉町で再開したい。今の店はあくまで仮店舗」だから。双葉町での再開を願い、“ふたば”の屋号は譲れませんでした。
- 元々1枚だった「郷里の葉パイ」。今は2枚セットにして“ふたば(二つの葉)”への想いを込めます。福島に人が来ることを願って誕生したのは、ふっくらした皮が特徴の「福来(ふっくら)ドラ焼き」。甘さを控えめして洋風に仕上げています。
- 再び双葉町のふたば茶亭になるその日まで、双葉への想いを胸に、お菓子を創り続けます。

